



Bチャレ

提案公募型協働事業

2025



＼ Bチャレとは ／

ボランティア・NPO・企業・行政・学生(学校)・ソーシャルビジネス等による地域課題解決や地域活性化を目指した事業を、協働で実施するためのチャレンジに助成する事業です。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「Bチャレ」としました。

新たなつながり部門

年度ごとに区と社会福祉協議会が設定した地域課題に対して、その解決に向けた礎を築くために課題についての周知や協働相手や理解者を増やすことを目指し、団体と区が連携し、協働する事業への助成です。

チャレンジ部門

地域課題の解決や地域活性化のために活動する団体のイベントやキャンペーン事業を通して文京区での実績や関係づくり、課題の検証を応援するための助成です。



協働とは

協働は、共通の目的・目標を設定するところから始まり、対等な立場で役割分担・協力しながら事業を進めていきます。そのため協働には対話が不可欠です。

フミコム 市民活動担当は、事業について相談に乗ったり広報活動のサポートはもちろん、団体と区担当課との間に入り、円滑な事業進行のための調整等のサポートを行なっています。

新たなつながり部門

文京区が考える 地域と協働で 解決したいこと

「新たなつながり部門」は、課題解決のための事業を通して地域課題を周知し理解者を増やすことを目的としています。2025年度、区と社会福祉協議会が連携し「文京区が考える地域と協働で解決したいこと」として右記9つの課題があがりました。

助成金額
1団体最大 **100万円**

● 2025年度版 文京区の地域課題

1. 町会・自治会の継続的な運営をICT等でサポートする活動
2. 町会・自治会等が行う地域コミュニティ活動の担い手を創出するために人材を発掘・育成する活動
3. 外国籍の住民が日常生活を送る上で必要な日本語を学び、交流を深め、相互理解の推進ができる場をつくるための環境整備をする活動
4. 文京区内の困難な課題を抱える女性が安心して相談することができ、必要な情報収集や支援につながるができる身近な場をつくる活動
5. 家庭のCO₂排出量削減を促進するための、区民の意識啓発及び身近で具体的な取組の周知活動
6. 孤立しがちな高齢者、特に退職後の男性が、オンライン等を活用し、地域や行政と早期からつながりを持てるような仕組みづくり
7. 文京区内で開催されている実行委員会形式のイベントにおいて、これまでの歴史を尊重しつつ、新しい担い手や連携先をつくり、開催を支えるための取り組み
8. 多職種の専門職が住民とつながるための仕組みづくりを推進するとともに、在宅医療・介護連携を推進するために地域の課題を収集する
9. その他、団体の専門性を活かしたテーマで提案された取り組み

チャレンジ部門

地域の団体等が、文京区の地域課題だと考えるテーマの検証を目指して行うイベント、あるいはキャンペーン事業への助成です。

助成金額
1団体最大 **20万円**



【認定NPO法人街ing本郷】（2023年度の事例）
フードシェアリングサービス文京



◀ 募集要項の詳細

令和7年度(2025年度)Bチャレにおける助成要件、応募方法、審査基準等の詳細



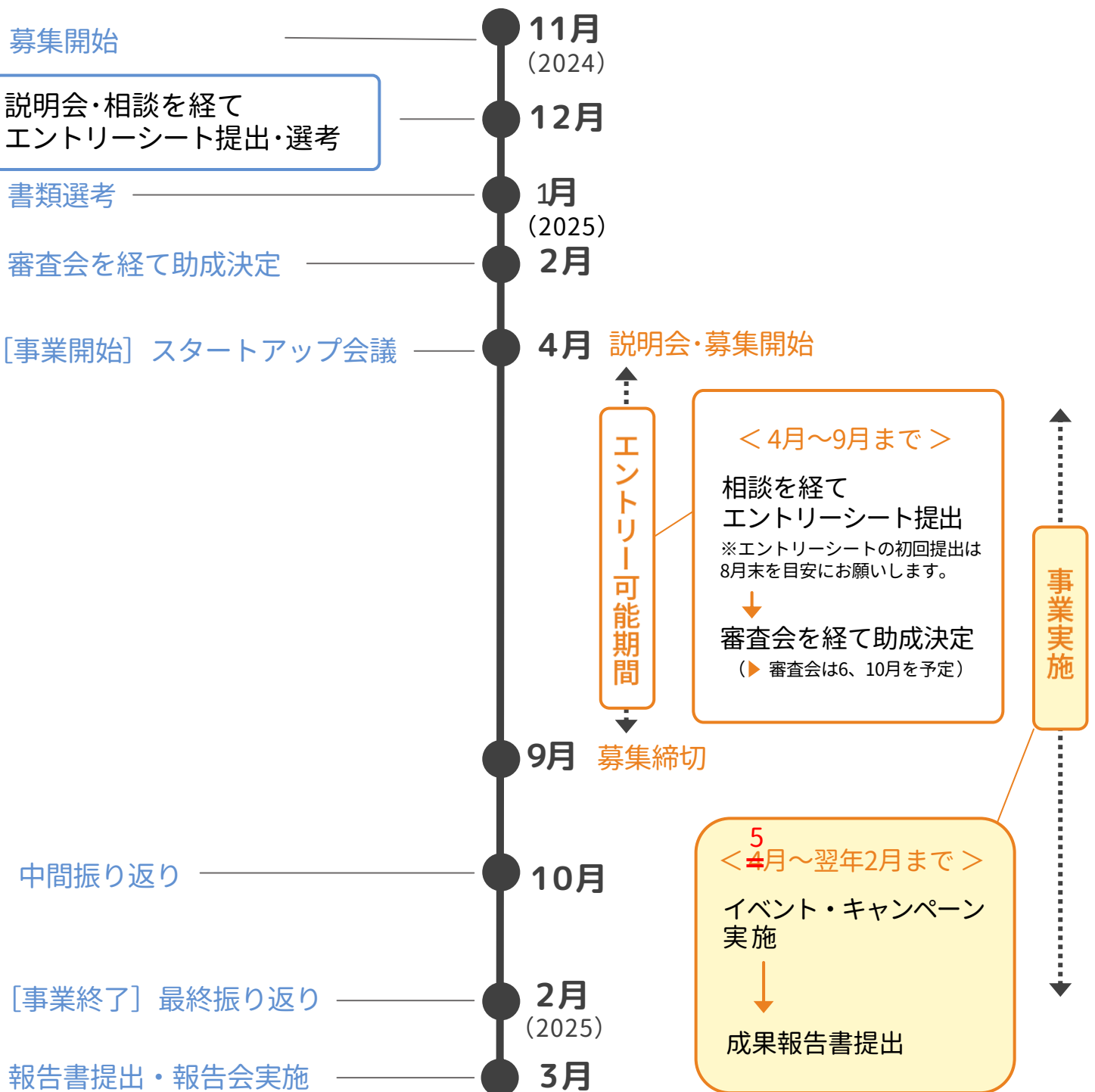
◀ 過去の助成団体一覧

平成30年度(2018年度)から令和5年(2023年度)に実施された事業の助成団体や報告書等

フミコム市民活動担当はエントリー前の事業相談からサポートを行います。その他にも専門相談や講座等の活用をご提案したり、他の団体等との連携についてもご相談いただけます。

新たなつながり部門

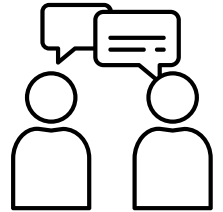
チャレンジ部門



2 部門共通

① 相談 ↓ 提出

まずは内容がまとまっていなくても大丈夫ですので、フミコム 市民活動担当までご相談下さい。どのようなチャレンジをしたいのか、フミコムの相談を経てエントリーシートをご提出いただきます。（エントリーシートは公開しておりません）



② 審査

エントリー期間内にご提出された書類に基づき、事務局で関係する担当課へのヒアリング等、事業に関する情報収集を行います。その後、文京区（新たなつながり部門は外部審査員を含む）と社会福祉協議会で審査会を行います。



③ 実施

事業実施前にスタートアップ会議を開催し、審査会からのフィードバックを含めて共有し、改めて成果指標を確認します。協働事業を通じて課題の深掘りし、団体間の連携を進めていくため、地域の情報やマッチングの機会等を提供します。



④ 報告書 提出

定期的な経過報告をいただき、事業実施をしていただきます。関係課をはじめ、協働事業を通じて関わった関係者からのコメントやアドバイスをお伝えし活動の継続に向けた伴走支援を行います。



新たなつながり部門

令和6年度の採択事業一覧

街じゅうボーダーレスアートミュージアム構想

実施団体：文京アートプロジェクト
助成額：864,000円

文京区の潜在的アート作品を展示することにより、区の魅力向上に寄与し、より多くの方が文化に触れ楽しむ機会をつくることを目的としてギャラリーシビックでの展覧会「Bunkyo Brut（ブンキョウブリュット）」を企画・開催する。



「地域防災力の向上を目指す 防災バリアフリーマップづくり」
—いざという時を平時から考える—

実施団体：NPO法人リーブ・ウィズ・ドリーム
助成額：645,000円

地域の方々と一緒に防災バリアフリーマップを作成する。平時から自分ごととしてバリアフリーや防災について学びあい、顔の見える関係をつくりながら、共に協力して地図作りを行うことで、地域防災力の向上を目指す。



多文化コミュニティプロジェクト「にほんご交流inぶんきょう」

実施団体：ぶんきょう多文化ねっと
助成額：796,000円

文京区在住・在学の外国人との交流、日本語を話す機会を持つことにより、お互いの理解を促進し、多文化地域社会を作っていくことを目指す。そのために日本語交流の機会をつくり、外国人理解の促進とともに人材の発掘と育成を行う。



“専門職と地域住民をつなぐ”架け橋事業

実施団体：NPO法人地域ネットワークとらいあんぐる
助成額：835,000円

生活に近い地域の居場所で、地域住民・専門職の双方と既に継続的な関係性を有する「架け橋（つなぎ役）」が両者をつなぐことで、多様な課題の早期対応を目指す。居場所運営者や専門職等と協働し、つながる機会を提供していく。



チャレンジ部門

令和6年度の採択事業一覧

災害時、大切な家族であるペットを守るために

実施団体：ペット防災マイスター
助成額：200,000円

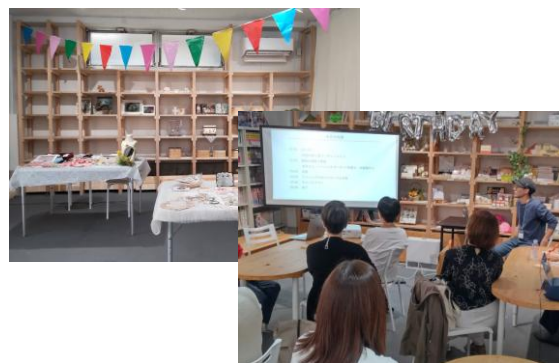
災害時、大切な家族であるペットを安全に避難させ、又避難所で迷惑をかけないように日頃からマナートレーニングし、防災知識を身に付けると共に、実際に同行避難・避難所開設の訓練をしていざという時に備える。



子どもの多様な生き方を考える上映&座談会

実施団体：さきちゃんち運営委員会
助成額：200,000円

子どもの多様な生き方に気付いたり、新たな考え方にふれたりすることのできる映画の上映&座談会を開催する。また、学校に通っていないお子さんの保護者の方々がつながる機会を創出する。



隣人の日・共創ワークショップ

実施団体：隣人の日・共創ワークショップ
助成額：199,000円

フランスの作家やアーティストたちが発明した技法で、思いがけない絵を共同制作できるお絵描きワークショップ。描いた絵は展示されます。年齢・性別・国籍・障がいの有無に関わらず、どなたでも参加できるイベントです。



おうちひらき！地域の方に目白台の家を知ってもらい、地域の課題を知る会

実施団体：目白台の家再生プロジェクトチーム
助成額：200,000円

築百年を超える家を中心に、目白台の持続可能な交流の場・地域づくりを行う決起としての「おうちひらき」を行い、地域の方との歴史文化の継承や、多様な交流のある魅力的なまちづくりをスタートさせます！





社会福祉法人 文京区社会福祉協議会
地域連携ステーションフミコム

〒113-0033
東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター 地下1階



開館日 月～土曜日 9:00～21:00
※電話・相談対応は19:00まで
日・祝・第4月曜日 9:00～17:00
※開館の最新情報について下記Webより
ご確認ください。

休館日 年末年始（12/29～1/3）
施設点検時（随時）

電話 03-3812-3044

メール fumikomu@bunsyakyō.or.jp

WEB <https://fumicom.tokyo>

SNS @bunsyakyō *Facebook/Twitter/Instagram